

一般会計化後の国有林の債務の返済試算

この試算は、一般会計化後の国有林の債務の返済見通しについて、一定の前提の下に試算したものである。

1 前提条件

(1) 債務返済に充てる財源

国有林野（森林経営用財産）からの収入である林産物収入、貸付料収入及び林野・土石売払代とする。

① 林産物収入

- ・ 収穫量は、平成10年の抜本的改革時に作成した収支試算に用いた収穫量を、平成11年度以降の収穫量の実績（収支試算の98%）により調整した見込数値

(単位：万m³)

平成25 ～29年度	30 ～34	35 ～39	40 ～44	45 ～49	50 ～54	55 ～59	60 ～64
1,120	1,260	1,410	1,490	1,540	1,550	1,560	1,570

注：数値は、収穫量の年度平均

- ・ 林産物販売額は、平成22年度実績単価を基に次のとおりとした。

区 分	単価（千円/m ³ ）	備 考
製品（素材）	9.2	平成22年度実績
立木販売（主伐）	2.6～4.0	2.6千円/m ³ は平成22年度実績。生産コスト低下に伴い10年後に4.0千円/m ³ にまで上昇
立木販売（間伐）	2.0	平成22年度実績

- ② 貸付料収入及び林野・土石売払代は、平成22年度の実績を基に、一般会計化による減少等を踏まえ、それぞれ30億円、10億円で推移すると見込む。

(2) 林産物収入等の確保に要する経費

木材の販売、収穫調査など林産物収入等の確保に要する業務・事業に係る所要経費（人件費相当分を含む）を見込む。

2 一般会計化後の国有林の債務の返済試算

(単位：億円)

区 分	平成25 ～29年度 (平均)	30～34 (平均)	35～39 (平均)	40～44 (平均)	45～49 (平均)	50～54 (平均)	55～59 (平均)	60～64 (平均)
債務返済に充てる財源	270	340	480	520	550	560	570	570
林産物収入	230	310	450	490	520	530	540	540
貸付料収入	30	30	30	30	30	30	30	30
林野・土石売払代	10	10	10	10	10	10	10	10
林産物収入等の確保に要する経費	180	140	110	100	100	100	100	100
業務管理費	80	70	60	60	60	60	60	60
事業的経費	100	70	50	40	40	40	40	40
債務返済額	90	200	370	420	450	460	460	470
債務返済額累計	29年度	34年度	39年度	44年度	49年度	54年度	59年度	60年度
	490	1,500	3,370	5,460	7,710	10,010	12,330	12,800

注1：本試算は、林野庁による試算である。

注2：平成29年度末の債務返済額累計は、平成24年度までの元本返済額及び返済予定額約60億円を含む。

注3：平成60～64年度のうち、債務返済を行うのは平成60年度のみ。（平成60年度で返済終了の見込み）

注4：計の不一致は四捨五入による。

(参考)

国有林野事業の債務返済イメージ

